



きした 敬 二 木下けいじ 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

南房
パラダイス

県の直営で事業継続へ

南房総市・安房郡特集 9月県議会一般質問

広域防護柵の設置を要望

今年4月の県議選で、地域の信任を得て無投票で再選を果たした安房郡・南房総市選出の木下敬二(きした けいじ)県議は、6月定例会で農林水産常任委員会委員長に就任。9月定例会県議会で地域を代表して一般質問に登壇しました。この中で、木下県議は、南房総地域の観光拠点である南房パラダイスの経営問題を取り上げ、休園・閉園することなく、現状のまま県が直営で開園し、新たに民間が参入しやすい条件づくりに努力していくとの考え方を県議会の場で確認しました。また、近年増加し続けるイノシシ被害への対応では、木下県議は「イノシシは、すでに被害ではなく、災害という認識で対応すべきだ」と深刻な状況を強く訴えました。

今年4月の県議選で、地域の信任を得て無投票で再選を果たした安房郡・南房総市選出の木下敬二(きした けいじ)県議は、6月定例会で農林水産常任委員会委員長に就任。9月定例会県議会で地域を代表して一般質問に登壇しました。この中で、木下県議は、南房総地域の観光拠点である南房パラダイスの経営問題を取り上げ、休園・閉園することなく、現状のまま県が直営で開園し、新たに民間が参入しやすい条件づくりに努力していくとの考え方を県議会の場で確認しました。また、近年増加し続けるイノシシ被害への対応では、木下県議は「イノシシは、すでに被害ではなく、災害という認識で対応すべきだ」と深刻な状況を強く訴えました。



本会議場の壇上から質問する木下敬二県議

木下議員 観光は、安房地域の経済を支える大きな柱の一つです。ところがこの夏、海水浴客が大きく減少し、安房地域の入込み客数は、前年対比で45%減となつています。これだけ海水浴客が減少した本県が、東京電力の風評被害に対する指針から外されたことに対し、深い憤りを感じています。南房パラダイスを9月から業務委託することとなっているが、その経緯はどのようなものか。

農工労働部長 県の観光施設である南房パラダイスは、平成18年度から指定管理制度を採用し、民間ノウハウを活用して株式会社オーシャンヴェール館山が管理、運営を行ってきました。しかしながら、東日本大震災後の風評被害の影響を受け、指定管理者から非常に厳しい経営状況が続いており、8月末をもって指定管理を辞退したい旨の申し出があり、協議を進めてまいりましたが、本年4月から7月までの収入が、例年に比べ半減するという状況の中、県としても辞退はやむを得ないと判断したところです。9月以降の対策として、南房総地域の重要な観光拠点である南房パラダイスの休園もしくは閉園を回避するため、県としては、緊急避難的に県の直営として、管理、運営することとしたところです。

農林水産部長 防護柵の設置については、イノシシ等の生息域が拡大していることから、広域的な視点に立った対策を講ずることが有効であると認識しております。防護柵については、市町村が策定する被害防止計画に位置づけ設置しており、隣接する市町村等が共同して被害防止計画を策定し、広域的な対策を講ずることができま

は、平成18年度から指定管理制度を採用し、民間ノウハウを活用して株式会社オーシャンヴェール館山が管理、運営を行ってきました。しかしながら、東日本大震災後の風評被害の影響を受け、指定管理者から非常に厳しい経営状況が続いており、8月末をもって指定管理を辞退したい旨の申し出があり、協議を進めてまいりましたが、本年4月から7月までの収入が、例年に比べ半減するという状況の中、県としても辞退はやむを得ないと判断したところです。9月以降の対策として、南房総地域の重要な観光拠点である南房パラダイスの休園もしくは閉園を回避するため、県としては、緊急避難的に県の直営として、管理、運営することとしたところです。

木下議員 私は二度ほど有害鳥獣問題、特にイノシシ等について質問してきました。その結果、予算の増額もあり、執行部に感謝しております。しかしながら、イノシシ被害によって、農家が生産意欲をなくし、耕作放棄地が増え、増加する要因になっていることです。県による広域防護柵の設置を安房郡市は協同して推進してほしいと考えています。県はどうか。

農林水産部長 広域焼却処理施設は、国の交付金制度がありますが、建設や運営等で問題が考えられます。今後研究に努めてまいります。

木下議員 県が広域的に焼却処理施設を設置すべきと考えるが、どうか。

農林水産部長 広域焼却処理施設は、国の交付金制度がありますが、建設や運営等で問題が考えられます。今後研究に努めてまいります。

農林水産常任委員会委員長に就任

●県政や南房総市安房郡のご相談をお寄せください……
〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1
TEL.0470 (44) 4111
FAX.0470 (44) 4112
●木下けいじ公式ホームページ=http://kishitakeiji.com/ ●Eメール=info@kishitakeiji.com

防災行政の整備で安全・安心を!



自席から再質問に立ち上がる木下県議

災害用伝言ダイヤル

木下議員 近年の季節外れの豪雨などにより、浸水等の水害や土石流などの被害が、全国各地で相次いでいます。そこで、県防災行政について伺います。

NTTでは、災害用伝言ダイヤル1771というものがありません。一般に認知度が高いとは言えない状況ですが、天気予報の1777などのように認知度が高まれば、被災時にも大いに役立つと考えます。この災害用伝言ダイヤルのサービスの活用をどのように考えているのか。

木下議員

防災危機管理監 このサービスは、災害時に電話が通じにくくなる状況において、安否確認等の手段として非常に有効なものであると認識しています。

防災無線の整備方針

県では、災害用伝言ダイヤルサービスのパンフレットを防災訓練などで県民に配布するとともに、毎年9月1日の防災の日には新聞やラジオにより広報啓発を行っているところですが、今後も一層の啓発に努めてまいります。

可搬型地球局の導入へ

木下議員 補完的な防災無線を各市町村に貸与する考えはないか。

災害時の事務代行

木下議員 市町村が機能不全に陥った場合、県の対策はどうなっているのか。

木下議員

災害により市町村の通信機能が停止した場合を想定した県防災行政無線の整備方針はどうか。

防災危機管理監 県防災行政無線では、災害により市町村の通信機能が停止した場合に備え、衛星系通信回線を利用して、音声・ファクシミリ・データ伝送による通信ができる可搬型地球局を県庁や各地域振興事務所に配備しています。

また、通信機能が停止した機関の代替無線局として活用できる機動性を備えた衛星通信車を中央防災センターに配備しています。

木下議員 補完的な防災無線を各市町村に貸与する考えはないか。

また、緊急性を考慮し、独自に可搬型地球局の購入を考えている市町村に対して、補助制度の創設を提案するが、見解はどうか。

防災危機管理監

災害による被害の軽減を図るためには、災害情報の受伝達体制の確立は不可欠であることから、今後も、防災行政無線の適切な運用に努めるとともに、東日本大震災等を踏まえ、衛星携帯電話など多様な通信手段を活用した情報受伝達体制について、市町村と協議してまいります。

要望

県との連絡手段を確保するために、可搬型地球局を必要とする市町村もあり、県民の安全・安心に役立てることが重要であることから、補助制度を近い将来に創設すべきと強く要望します。

建設業界の現状訴え

木下議員 安房地域では、建築・土木の歴史や実績を有する会社が、次々に倒産しております。建設産業の基盤が脆弱化し危機に直面している現状です。また、震災・豪雨・土石流の災害時の対応は、建設業者の支援なくしては考えられません。

森田知事 災害により市町村が全部または大部分の事務を行うことができなくなった場合は、災害対策基本法に基づき、知事が市町村長に代わって、避難勧告等の応急措置を実施することになります。

建設業界の現状訴え

木下議員 安房地域では、建築・土木の歴史や実績を有する会社が、次々に倒産しております。建設産業の基盤が脆弱化し危機に直面している現状です。また、震災・豪雨・土石流の災害時の対応は、建設業者の支援なくしては考えられません。

木下議員

現在、職員の技術力や資質の向上等により、現場力をつけているところですが、さらなる資質の向上に向けた学習にとめていただけるよう要望します。

また、公共事業の平準化について、予算がつかないなど国との関係もある中で、早期執行に努めているとのことですが、まだまだの感はいなめません。さらなる尽力を要望します。

建設業界の現状訴え

木下議員 職員の現場での施工管理について、どのように認識しているのか。

建設業界の現状訴え

木下議員 職員の現場での施工管理について、どのように認識しているのか。

木下けいじ県議PROFILE

- 昭和23年5月 旧千倉町に生まれる
- 昭和46年3月 日本大学経済学部卒業
- 平成7年3月 千倉町議選当選
- 平成13年4月 千倉町長選当選
- 平成19年4月 県議選当選
- 平成23年4月 県議選再選

経歴

- 県議会 農林水産常任委員会委員長
元総務常任委員会委員長
元健康福祉常任委員会副委員長
- 自民党県連 政調会総務警察部会長
千葉県花き生産推進議員連盟
農業土地改良議員連盟
水産振興議員研究会

南房総市・安房郡特集

地域の声を 県政へ

木下けいじ 県議

き した 敬